

The Active and Powerful Word

- Derek Prince

デレク・プリンス 教えの遺産アーカイブ
学びの書簡シリーズ
生きた力強いことば

生きた力強いことば

別の学びの書簡で、広範囲に及ぶ神のことばの権威について探求しました。II テモテ 3:16-17 でパウロから学んだことは、「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです」でした。あなたが、すべての良い働きのために十分に整えられた者になりたいと願うなら、そのすべての源は、聖書にあります。

私たちはまた、語られたもの、書かれたものの両方において、イエスとみことばの関係について考察しました。そこからわかったことは、イエスが聖書の権威を完全に支え、成就しておられるということでした。

これらすべてのことから、みことばを記録させ、実行させる媒体として、神は聖霊を用いられたことを理解しました。聖霊は常にイエスに栄光を帰しているという事実を、私はヨハネの福音書から例を挙げて結論づけました。イエスに栄光を帰さず、何か他のものに栄光を帰する霊的な現われをあなたがこれまでに目にしたことがあるなら、それは聖霊でないと断言できます。聖霊の究極の働きは、イエスをあらわすことと、イエスに栄光を帰することです。

みことばにはどのようなことができますか

ヘブル 4 章で、私たちは神のことばの性質を分析しました。

「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」(12 節)

神のことばは死んではいません。単に白い紙に黒い記号が書かれているだけではありません。それは

生きていて、それが来るところにはいのちをもたらします。それは、この世を満たしているサタンのあらゆる偽りよりも力あるものです。

聖書はまた、人は三位一体（父、子、聖霊）の神に似せて創造された三つ（霊、たましい、からだ）から成っているものであることを示しています。たましいと霊の違いを見分けることができる唯一の方法は、神のことばによります。神のことばは霊的なものとたましい的なものを刺し通し、分離するのに十分な鋭い道具です。Ⅰコリント2章でパウロは、「生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません・・・なぜなら、御霊のことは御霊によってわきまえるものだからです」（14節）と言っています。

また、みことばは関節と骨髄も分けることができます。みことばの驚くべき貫通力は、手術用のメスや精神科医の検査針よりもより深く刺し通すことができます。それは人間の人格を実に深く、正しく導く、唯一の道具です。

ある人がかつて私に言いました。「あなたが聖書を読むとき、あなたの聖書もまた、あなたの思いを読んでいるのだ。」それは、私にとっても強烈でした。というのは、私が聖書を読み始めたとき、私は哲学の専門家にすぎませんでした。しかし、読み続けていくと、自分自身について何か違いを感じ始めました。傲慢、高ぶり、横柄さ、知的自信など、すべてが聖書の前にしぼんでいきました。にもかかわらず、その時にはその事実を信じることができませんでした。しかし、みことばはなおも私に働き続けました。

受け取らなければならない

Ⅰテサロニケで、パウロは福音に素晴らしい方法で応答した信者たちに宛てて書いています。

「こういうわけで、私たちとしてもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたは、私たちから神の使信のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実どおりに神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。」
(Ⅰテサロニケ 2:13)

聖書が私たちにしてくださることは、私たちがどのように受け取るかにかかっています。私たちが神からことばを受け取る時、実に素晴らしいものへの道が開かれています。

「というのは、私たちをご自身の栄光と徳によってお召しになった方を私たちが知ったことによって、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。その栄光と徳によって、尊い、すばらしい約束が私たちに与えられました。それは、あなたがたが、その約束のゆえに、世にある欲のもたらす滅びを免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。」
(Ⅱペテロ 1:3-4)

これは、素晴らしいことばです。神の全能の力は、私たちが必要とするすべてのものをすでに与えてくださっているのです。ニューエイジの哲学は基本的に、あなたは神になれるという教えです。それは一つの根本的な理由で明らかに誤っています。神は被造物ではなく、私たちが被造物だからです。被造物は決して創造主になることはできません。それはあざむきです。しかし、神のことばの約束を受け取り、適用するとき、私たちは神のご性質にあずかるようになります。それは私たちの成功の鍵です。それは神が私たちに与えてくださった最も素晴らしい賜物です。

特別な効力

パウロは、テサロニケの人々へ、神のことばは信じているあなたがたのうちに働く、と言いました。そこで、神のことばがあなたの人生になさる8つのものを見ていきたいと思います。

第一に、神のことばは**信仰を生み出**します。第二次世界大戦時、私は医師が治療不可能と診断した皮膚病を患い、北アフリカの砂漠の病院に丸1年間入院していました。当時はまだ新米のクリスチャンで、「私に信仰があるなら、神はいやしてくださる」と自分に言い聞かせ続けていました。しかし、次にいつも言っていたことは、「でも、私には信仰がない」だったのです。

ある日、ローマ 10:17 が目に飛び込んできました。「そのように、**信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。**」 私たちに信仰がないなら、それを得ればいいのです。信仰がないままでいてはいけません。

新約聖書の時代、文字を読める人の大半は、自分一人でいるときでも、大きな声で読んでいました。大きな声で読み上げることは、読んでいることを自分自身で聞くことにもなるので、信仰が高まるという益があるのです。

第二に、神のことばは**新しい誕生の種**です。神のことばによって、実際に私たちは神の家族の中に入るのです。

「あなたがたは、真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、互いに心から熱く愛し合いなさい。あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」
(1ペテロ 1:22-23)

「朽ちない種」とは、信仰によって心に受け取る、新しい誕生をもたらす神のことばです。種の性質は、そこから生まれるいのちの性質を決定づけます。リンゴの種を植えて、ミカンの木が生えてくることはありません。神のことばは朽ちることがなく、それが生み出すいのちは朽ちません。神に似た、きよい、永遠のものです。

第三に、神のことは**靈的な食物**です。生まれ変わったあなたには食物が必要です。神のことは、靈的成長のためにふさわしい食物を与えます。あなたが靈的に子どもであるなら、乳が必要です。

「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し…」
(1ペテロ 2:2)

私たちの多くが、生まれ変わったばかりの時に何よりも望んでいたことは、聖書を読むことであると断言できるでしょう。私たちは、真に私たちを養うことができるものを求める健康的な食欲をもった、健康的な子どもとして生まれ変わったのです。

私たちは成長するにつれて、固い食物を必要とします。ヘブル 5 章で著者は、聖書の知識を持ったユダヤ人に語っています。それはまた、私たちにも語られています。成長するべきであるということは、私たちすべてが知っていることだからです。

「あなたがたは年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神のことは初歩をもう一度だれかに教えてもらう必要があるのです。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要とするようになっています。まだ乳ばかり飲んでいるような者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。しかし、堅い食物はおとなの物であって、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。」
(ヘブル 5:12-14)

成熟した者となるためには、神のことは適用しなければなりません。あなたが今与えられているみことばの意味が何であるかを認識して、それを用いなければなりません。もしあなたが神のことはによって生き活きと生きていないなら、乳以上のものを摂取することは決してできないのです。堅い食物は、みことばを実行し、訓練され、いつも誠実に生活の中に適用している人々のためのものです。

第四に、神のことは**精神に光をもたらします**。詩篇 119 篇で著者は、次のように神に語りかけています。

「みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。」 (詩篇 119:130)

みことばは、私たちの思いと心の中に光をもたらします。それは教育とは別のものです。教育は光ではありません。教育を受けても、真っ暗闇の中にあることがあり得ます。あなたは教育を求めるかもしれませんが、知恵も見出しているでしょうか。それらは同じではありません。教育は役立つものですが、光ではありません。

第五に、神のことは**身体的いやし**をもたらします。これを言うのは、私自身の経験からです。

「愚か者は、自分のそむきの道のため、また、その咎のために悩んだ。

彼らのたましいは、あらゆる食物を忌みきらい、彼らは死の門にまで着いていた。
この苦しみのときに、彼らが主に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救われた。
主はみことばを送って彼らをいやし、その滅びの穴から彼らを助け出された。」

(詩篇 107:17-20)

この人々は死の門まで来ており、祈ることが助けになるかもしれないと、不意に思いつきました。そして神は、「彼らを苦悩から救われ」ました。神がみことばを送った時に神がなされた3つのことに注目してください。神は救い、いやし、助け出しました。神のあわれみの3つの大なる働きです。罪から救い、病をいやし、悪の力から助け出す。神は何よりもみことばを通して、これらを成し遂げられます。

「わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。
それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。
見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。」

(箴言 4:20-22)

私が、「信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによる」というローマ 10:17 を見出したのは、北アフリカの病院に入院して7か月の頃でした。私は新たな希望をもって再び聖書を読み始めました。しかし、私には問題があったのです。いやしについての約束を次々と読んでいましたが、こう思いました。「これはただ私のたましいのいやしという意味に過ぎない。神は私のからだには本当は関心がないのではないか。言葉のあやに過ぎない。結局死ぬんだ。」しかし、箴言 4:20-22 に出会ったとき、私はそのみことばから離れることができませんでした。神はみことばで、「見いだす者にはそれはいのちとなり、全身を健やかにする」と言っておられます。たとえ哲学者であっても、「身体」に、身体以外の意味を持たせることはできません。

それから、私は欄外の「全身を『健やかにする』は、全身の『薬となる』と解釈できる」というところに目を留めました。私は、「人々は薬をどのように飲むだろうか」と考えました。答えはだいたい「一日3回毎食後」でしょう。2、3か月の間、私は神のことばを一日3回食後に私の薬として摂取しました。そして、世界で最も過酷な気候の中で完全に永久的ないやしが与えられました。

第六に、神のことばは**罪とサタンに勝利する鍵**です。今の時代、多くの若者たちが、きよい生活に導かれることは可能かと問います。教育者たちの大半は不可能だと答えます。しかし、聖書は言っています。

「どのようにして若い人は自分の道をきよく保てるでしょうか。あなたのことばに従ってそれを守ることです。
あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」

(詩篇 119:9、11)

私がアフリカの若者たちの間で奉仕をしているときに、このことばが何度も成就してきたことを神に感謝しています。若者たちは、神のことばを心に留めたので、彼らはきよくされ、きよい生きかたに導かれました。

第七に、神のことばは**私たちをきよめます**。神のことばは私たちを聖なる者、神に受け入れられる者としてくださいます。

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。」（エペソ 5:25-27）

夫であるみなさん、これは勧めではありません。命令です。イエスはどのように、きよく傷のない花嫁をご自身に準備されるでしょうか。神のことばによる水の洗いを通してです。神のことばは私たちを聖別し、きよめます。ご自身の犠牲の血潮によってイエスは私たちをあがないましたが、みことばの水によって私たちをきよめ聖別してくださいます。私たちには両方とも必要です。私たちはみことばによってきよくされるために、血潮によってあがなわれたのです。

第八に、神のことばは**霊的な鏡**です。それをのぞき込むとき、あなたの外見ではなく、あなたの内側が本当はどのようであるかが映し出されるのです。

みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようであったかを忘れてしまいます。ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。
(ヤコブ 1:23-25)

あなたが鏡を見たときに何か変なところを見つけたら、正しく直すでしょう。髪が乱れていたら直します。ヤコブは、あなたが神のことばという鏡を見たときに、正す必要があるということを言っています。その中に霊的な自分を見て、しなければならぬと示されたことを行なう必要があるのです。

神の鏡が私たちの罪を映し出すとき、その示されたことに対して即座に行動を起こすのです。すなわち、悔い改め、信じ、福音に従います。そうすれば、次に鏡を見たときには、私たちの古い罪深い性質をもはや見ることはないでしょう。その代わりに、すでに赦され、きよめられ、義とされ、キリストにある新しい被造物として神が見てくださっているように自分自身を見ることができます。私たちは、素晴らしい奇跡が起こったことを理解するために創られたのです。